

2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月12日
名

上場会社名 株式会社ガイアックス 上場取引所
コード番号 3775 URL <https://www.gaiax.co.jp>
代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 上田 祐司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役 (氏名) 野澤 直人 TEL 03-5759-0300
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,584	0.8	121	△71.5	149	△66.6	114	△74.7
2024年12月期第3四半期	2,563	35.1	426	—	446	—	451	224.5

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 47百万円(△88.3%) 2024年12月期第3四半期 407百万円(168.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	22.43	—
2024年12月期第3四半期	88.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	2,428	1,288	52.6
2024年12月期	2,340	1,264	53.7

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 1,276百万円 2024年12月期 1,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	50.00	—	5.00	55.00
2025年12月期	—	0.00	—		
2025年12月期(予想)				5.00	5.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2024年12月期の配当原資には、資本剰余金が含まれております。

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	3,300	△2.1	200	△46.0	200	△45.2	180	△37.1
								35.28

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年12月期 3 Q	5,337,452株	2024年12月期	5,337,452株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	234,742株	2024年12月期	234,742株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年12月期 3 Q	5,102,710株	2024年12月期 3 Q	5,102,758株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3 「(3) 連結業績予想などの将来情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費者物価の上昇の影響などから、個人消費に弱さが見られたものの、雇用・所得環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、資源価格の高騰や物価高、米国の対外政策の動向、欧米における金融引き締めの影響や中国経済に対する先行き懸念など、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境におきましては、SNS活用をはじめとするデジタルマーケティング市場は、顧客企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）への旺盛な投資を背景に堅調となっており、今後も安定的な成長が予想されます。今年度より注力しているショートドラマ事業は、自社IPにおいて総再生回数が4億回を超え、クライアントのサービス・商品認知のためのタイアップ施策を開始しています。また、「スタートアップ育成5か年計画」による当社の起業支援「スタートアップスタジオ」の取り組みへの強い追い風が継続しております。

web3/DAO分野では、「デジタル田園都市国家構想」等の政策が継続して推進される中、「地方創生2.0」の実現に向けた取組として、「関係人口」に着目し、住所地以外の地域に継続的に関わる方々を登録できる「ふるさと住民登録制度」において「プレミアム登録」を検討するなど、DAOを活用した地方創生のさらなる展開が期待されております。そのような中、当社支援の下で群馬県、香川県三豊、新潟県佐渡にてDAOによる資金調達が進むなど、DAOの社会実装に向けた事例も増えてきております。

このような背景のもと、当社は、ソーシャルメディアサービス事業、web3（DAO・自律分散型組織）のノウハウを活かし、引き続き成長が期待される様々なサービスの開発や起業・事業支援をするとともに、ビジネス領域の更なる拡充と優位性の確保に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間は、既存事業においては、顧客企業から大型案件の受注に加えスポット案件の受注も増加し、売上高は堅調に推移いたしました。また急速に普及しているショートドラマの受託制作を開始し、着実に事業は拡大しております。一方、利益面においては、事業拡大に伴う人件費や外注費等の増加や新規サービスへの投資が先行してしているものの増加基調ではありますが、前年対比においては、前期は大型の株式売却という増加要因があったことから、減益となっております。

この結果、売上高は2,584,246千円(前年同期比0.8%増)、営業利益は121,411千円(前年同期比71.5%減)、経常利益は149,162千円(前年同期比66.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は114,453千円(前年同期比74.7%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（ソーシャルメディアサービス事業）

ソーシャルメディアサービス事業は、企業のSNSやコミュニティに関わるマーケティングを戦略から運用まで一貫通貫で総合的に支援を行う事業です。Facebook、X、Instagram、TikTok、LINE公式の運用から、35万人超の登録クリエイターを活かしたマーケティング支援、ストックフォトサービスを提供しています。また、Webマーケティング領域の支援として、Webサイト及びシステム、AWSインフラの構築・運用を行っています。近年は、急速に普及するショートドラマを受託制作するとともに、独自のIPを育成・拡大にも取り組んでいます。

当第3四半期連結会計期間においては、引き続きSNSマーケティングが堅調であり、大型キャンペーンの受注やアップセルが功をなし、売上高は増加し、新規サービスとして注力しているショートドラマ領域においては、当社の独自IP『本気出すのは明日から。』が累計再生回数4億回を突破しました。さらに、同IPのオリジナルグッズ販売やYouTubeメンバーシップ（月額制）を開始し、IPを基軸とした新たなマネタイズも開始しております。しかしながら、ショートドラマの初期制作費等の投資が先行し、大幅に利益を押し下げました。

この結果、売上高は1,724,311千円(前年同期比11.6%増)、セグメント利益は140,845千円(前年同期比24.1%減)となりました。

（インキュベーション事業）

インキュベーション事業は、投資先企業の株式を保有し、事業育成・成長支援などのハンズオン支援を行う「グループ外インキュベーション」と、「グループ内インキュベーション」で構成されております。グループ内インキュベーションにおきましては、これまでの社外投資実績を活かし、地方自治体等の外部団体に起業家教育やアクセラレーションを受託しております。これらのほか、自律分散型組織「DAO」構築支援、体験シェアサービス「aini」、海外在住の日本人が案内する「LOCOTABI」を提供しております。

当第3四半期連結会計期間においては、複数のスタートアップ支援関連の自治体への売上が伸長し、また、保有している投資先株式の一部売却も行い、売上高及び利益増加に貢献いたしました。前年対比においては、前期に大型の投資先株式の売却があり、減収・減益のように見えてしまいましたが、当該特殊要因を除くとインキュベーションの各事業は着実に成長基調となっております。

この結果、売上高は865,495千円（前年同期比15.3%減）、セグメント利益は266,251千円（前年同期比50.0%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.9%増加し、2,258,286千円となりました。これは主に現金及び預金が増加した220,014千円、仕掛品が43,387千円増加したこと、営業投資有価証券が167,893千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、170,197千円となりました。これは主にソフトウェア仮勘定が11,407千円、工具、器具及び備品（純額）が4,499千円増加したこと、長期貸付金が22,489千円、貸倒引当金が6,958千円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、2,428,484千円となりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.8%減少し、697,537千円となりました。これは1年内返済予定の長期借入金が28,362千円、前受金が27,288千円、未払法人税等が25,918千円増加したこと、短期借入金が74,997千円、未払金が31,227千円、未払費用が19,445千円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて26.0%増加し、442,049千円となりました。これは主に長期借入金が122,096千円増加したこと、繰延税金負債が30,942千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、1,139,586千円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.9%増加し、1,288,897千円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加した114,453千円、有価証券評価差額金が69,410千円、配当により資本剰余金が25,513千円減少したことによるものであります。

なお、2025年3月28日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年6月1日付で減資の効力が発生し、資本金を90,000千円、資本準備金を25,000千円減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金295,604千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行いました。これらの資本金及び資本準備金の額の減少並びに欠損填補は貸借対照表の純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産額に変更はありません。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年2月14日公表の「2025年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しております数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	906,252	1,126,266
受取手形及び売掛金	442,772	371,036
仕掛品	132,917	176,304
営業投資有価証券	641,656	473,762
その他	49,804	111,347
貸倒引当金	△382	△432
流動資産合計	2,173,021	2,258,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,187	7,510
工具、器具及び備品（純額）	10,093	14,592
土地	4,091	4,091
その他（純額）	0	0
有形固定資産合計	22,371	26,194
無形固定資産		
ソフトウェア	16,910	13,932
ソフトウェア仮勘定	—	11,407
のれん	39,650	30,500
無形固定資産合計	56,561	55,840
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,737	4,821
長期貸付金	136,856	114,366
その他	18,305	32,604
貸倒引当金	△70,588	△63,630
投資その他の資産合計	88,310	88,162
固定資産合計	167,243	170,197
資産合計	2,340,265	2,428,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,561	110,173
短期借入金	91,667	16,670
1年内返済予定の長期借入金	63,258	91,620
未払金	136,522	105,295
未払費用	114,462	95,016
預り金	78,933	96,596
未払法人税等	51,781	77,700
前受金	27,099	54,387
その他	45,560	50,076
流動負債合計	724,847	697,537
固定負債		
長期借入金	221,795	343,891
繰延税金負債	129,100	98,158
固定負債合計	350,895	442,049
負債合計	1,075,742	1,139,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	10,000
資本剰余金	1,602,047	1,370,929
利益剰余金	△725,338	△315,281
自己株式	△68,400	△68,400
株主資本合計	908,307	997,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	348,479	279,068
その他の包括利益累計額合計	348,479	279,068
新株予約権	7,735	9,794
非支配株主持分	—	2,786
純資産合計	1,264,522	1,288,897
負債純資産合計	2,340,265	2,428,484

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	2,563,405	2,584,246
売上原価	815,503	1,061,411
売上総利益	1,747,901	1,522,835
販売費及び一般管理費	1,321,659	1,401,424
営業利益	426,242	121,411
営業外収益		
受取利息	2,207	3,623
助成金収入	6,916	6,196
為替差益	2,593	—
貸倒引当金戻入額	—	14,832
ポイント失効益	9,039	—
キャッシュバック収入	4,381	4,554
その他	1,765	1,429
営業外収益合計	26,903	30,637
営業外費用		
支払利息	1,234	2,799
チャージバック損失	5,567	—
その他	—	85
営業外費用合計	6,802	2,885
経常利益	446,344	149,162
特別利益		
新株予約権戻入益	8,683	567
特別利益合計	8,683	567
特別損失		
固定資産除却損	199	—
投資有価証券評価損	600	—
特別損失合計	799	—
税金等調整前四半期純利益	454,227	149,729
法人税、住民税及び事業税	2,883	32,490
法人税等合計	2,883	32,490
四半期純利益	451,344	117,239
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△185	2,786
親会社株主に帰属する四半期純利益	451,530	114,453

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）
四半期純利益	451,344	117,239
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,542	△69,410
その他の包括利益合計	△43,542	△69,410
四半期包括利益	407,801	47,829
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,987	45,042
非支配株主に係る四半期包括利益	△185	2,786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の減資
2025年2月14日 取締役会	普通株式	25,513	5.00	2024年12月31日	2025年3月31日	その他 資本剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2025年3月28日開催の定時株主総会の決議に基づき、2025年6月1付けで減資の効力が発生し、資本金を90,000千円、資本準備金を25,000千円減少し、その他資本剰余金に振り替えるとともに、その他資本剰余金295,604千円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が10,000千円、資本準備金が0円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディアサー ビス事業	インキュベ ーション事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,544,839	1,018,566	2,563,405	—	2,563,405
外部顧客への売上高	1,544,839	1,018,566	2,563,405	—	2,563,405
セグメント間の内部売上高 又は振替高	444	2,983	3,427	△3,427	—
計	1,545,283	1,021,549	2,566,833	△3,427	2,563,405
セグメント利益	185,555	532,221	717,777	△291,534	426,242

(注) 1. セグメント利益の調整額△291,534千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

Micolo株式会社の株式の一部を取得し子会社化したことに伴い、「ソーシャルメディアサービス事業」において、のれんが89,443千円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ソーシャル メディアサー ビス事業	インキュー ベーション事 業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,723,197	861,048	2,584,246	—	2,584,246
外部顧客への売上高	1,723,197	861,048	2,584,246	—	2,584,246
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,113	4,446	5,560	△5,560	—
計	1,724,311	865,495	2,589,806	△5,560	2,584,246
セグメント利益	140,845	266,251	407,097	△285,685	121,411

(注) 1. セグメント利益の調整額△285,685千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び前第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	7,514千円	8,790千円
のれんの償却額	18,094千円	9,150千円